

国立大学法人大分大学長の業績評価について

国立大学法人大分大学学長選考・監察会議規則（平成16年規則第10号）及び国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ（平成28年3月24日 国立大学法人大分大学学長選考会議）に基づき、下記のとおり国立大学法人大分大学長の業績評価を実施したので、同申合せ第4の規定により公表します。

令和5年(2023年)1月25日

国立大学法人大分大学学長選考・監察会議

議長 杉 原 正 晴

記

- 1 学長氏名 北 野 正 剛
- 2 評価対象期間 令和3年(2021年)10月1日～令和4年(2022年)9月30日
- 3 評価結果 学長は大学運営・経営について適切に遂行していると判断する。
- 4 確認状況

学長選考・監察会議は、国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ（平成28年3月24日 国立大学法人大分大学学長選考会議）に基づき、自己評価書等を参考とした上で、学長との面談を実施し、業務執行状況の確認を行った。

主な確認項目は以下のとおりである。

【学長としての重点的取組事項】

重点的取組事項として、グローバル感染症研究センターとその建物の設置、理工学部の改組である旨確認した。

【大学運営・管理運営に関すること】

人口減少社会を踏まえ、地方国立大学の存続のために必要な取組、改革の痛みへの対応策、少子化を踏まえた学生の確保方策や大学独自の対応策、教員の人件費の管理に関する審議方法、近未来の管理運営を担う人材を含め法人経営を担う人材育成・確保の方針、管理職の適正規模、資源（人材、財源等）の配分に関する考え方、学長の任期・再任回数の方針等について確認した。

【教育に関すること】

博士課程の定員充足に関する対応、理工学研究科の設置、今後の教育学部の在り方（教員育成方法等）、不足している分野を充足するための教育・就職支援方法、初等教育段階での理系人材の育成方策、コロナ禍における学生への対応等について確認した。

【研究、医療に関すること】

指導的立場となる人材の確保の方法、理工学部の改組に伴う研究費増加策、附属病院の介護・在宅医療に関する考え方、若手教員の採用と研究・教育力向上に関する考え方等について確認した。

【地域貢献・社会連携、国際化・国際協力に関すること】

D X ・ G X 等を推進できる優秀な人材の地域への輩出策（大学と地域中小企業の連携強化）、建築や土木分野の人材確保策等について確認した。

5 付帯意見

18歳人口の減少や運営費交付金の削減、光熱水費を含む物価の高騰など、大学を取り巻く環境は年々厳しくなっているが、引き続き優秀な学生の確保や外部資金等自己財源の拡充に努め、情報公開を推進しながら経営の効率化と教育・研究の質の向上を図っていただきたい。

また、世界に通じる卓越した研究や環境変化に対応できる人材育成を行うとともに、教育研究及び医療の拠点として地域のポテンシャルを引き出し、地方創生と大分県民の健康増進にも貢献していただきたい。

今後も引き続き、学長がリーダーシップを発揮し、教職員と一致協力しつつ、さらに地方自治体や他大学等とこれまで以上に連携しながら、より魅力ある大学となるよう、全学的視点を持って、大分大学を発展させていくことを期待する。

6 経 緯

(1) 令和4年度(2022年度)第1回学長選考・監察会議（令和4年(2022年)6月29日）

令和4年度に実施する学長の業績評価に関して、資料及びスケジュール案等を確認した。

(2) 令和4年(2022年)10月中旬から令和4年(2022年)12月中旬にかけて

学長に自己評価書の提出を依頼した。

前年度の実施実績を踏まえ、学長の業務執行状況を確認するに当たっての参考資料（平成28年3月24日付け国立大学法人大分大学長の業績評価に関する申合せ第3の2項）について、学長選考・監察会議委員に事前に送付し、確認を願った。

(3) 令和4年度(2022年度)第3回学長選考・監察会議（令和4年(2022年)12月26日）

学長から提出された「自己評価書」を含む事前に送付した(2)の参考資料の最終確認及び当日の流れ等について確認を行った。

(4) 令和4年度(2022年度)第4回学長選考・監察会議（令和5年(2023年)1月25日）

学長との面談を実施し、評価結果を取りまとめた。

また、会議終了後、議長から学長へ通知した。